

守山鯨城会便り

第52号

平成28年2月発行

発行 名古屋市高年大学守山鯨城会
名古屋市高年大学鯨城学園



御花弘法大師像（小幡緑地内）

目 次

	ページ
会長挨拶「会長要望」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 会長 中村 正幸	1
27年度ボランティア活動・・・・副会長・ボランティア委員長 衛藤 孝義	2
27年度を振り返って・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 行事委員長 伊藤 清和	4
27年度を振り返って・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 幹事（鯨城会） 加藤 守男	5
この一年を振り返って	
守山地域代表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 水野 美恵子	6
守山東地域代表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 加藤 章夫	6
守山西地域代表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 竹内 文雄	6
守山北地域代表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 長谷川 満	7
大森地域代表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 植村 初代	7
森孝地域代表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 藤田 恵子	7
志段味地域代表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 石橋 召二	8
27年度収穫の秋を迎え・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ボランティア委員会	9
地域ミーティング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 広報担当	10
「いも煮会」五周年を迎えて・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 浅井 保司	12
BS テレビ「小さな村の物語イタリア」を見て思う事・・・・・・・・ 奥村 隆司	15
OB 文化祭出演にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 角田 悟	16
俳句・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 後藤 忠士	16
俳句・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 杉本 三夫	16
短歌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 立川 哲夫	16
編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16

名古屋市高年大学 守山鯨城会
第 26 回 通常総会
 日時：平成28年4月13日（水）午後1時45分～
 場所：守山文化小劇場

表紙の写真（御花弘法大師像）

守山区の小幡緑地公園内緑ヶ丘CC西に鎮座するコンクリート製の弘法大師像です。
 1929(昭和4)年、当時の「瀬戸電気鉄道(株)」が小幡駅より龍泉寺への支線・龍泉寺鉄道を計画。龍泉寺に遊園地を造り大いに売り出し、その集客の目玉として守山区を中心とし一部隣接の春日井市松河戸、尾張旭市にわたる「蓬萊七福神」および「尾張三大弘法」を組織し、当時は大いに盛り上がっていたと言います。
 しかし鉄道敷設には至らずその後、瀬戸電気鉄道は1939(昭和14)年、名古屋鉄道と合併、瀬戸線となり、これらの霊場巡りは下火となって行きました。
 御花弘法大師像はこの「尾張三大弘法」第一番御花弘法大師として1932(昭和7)年開眼供養されたものです。(弘法像の高さは、10m余り)

会長挨拶

「会長要望」

会長 中村 正幸（26期 国際）

会長を引き受け早1年近くになります。会の活性化に向けて努力道半ばの感がいたします。現在の会員数は270名です。残念ながら減少傾向が続きます。それに伴い財政状況も厳しくなっています。それ以上に厳しいのがボランティア行事を始めとする各種行事への参加者の減少であります。



財政は工夫、努力していくことにはなりますが、特に危惧しているのがボランティア行事の参加者が減っていることです。

そのような中でも多くの会員が参加している企画物があります。今年度の地域会行事は今最大の話題でありますリニアの「リニア鉄道館」に始まり、夏の定番の「アサヒビール名古屋工場」、何故か大人気だった「三菱電機名古屋製作所」、我々においしい水を提供してくれる「鍋屋上野浄水場」、そして飛行機好きにはたまらない「三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所」（3月予定）と続きました。それぞれ地域会の方々が興味深くかつ楽しめそうな場所を考えて頂きました。ご苦労様です。

そして5回目となった「芋煮会」も多くの会員と玉野川学園の生徒、先生が元気よく参加していただき、盛り上がった秋の1日となりました。準備を含めますと大変な日数になりますが関係者の皆様ありがとうございました。

いずれも鯉城会の存在に感謝する催しであり、継続していきたい行事であると改めて認識しています。

全会員の皆様に今一度守山鯉城会設立時以降数年間、全員が意識したであろう「社会活動への貢献意欲」を思い起こし、「無関心」を捨て去り、友との再会を期待して、せめて一度あるいは二度で結構ですので行事に参加していただくようお願いして挨拶並びに要望とします。

27年度ボランティア活動

ボランティア委員長 衛藤 孝義(26期 地域 森孝)

守山鯨城会は7地域会と連結し、各地域会ボランティア委員7名、本部ボランティア委員4名、会員様と活動をしています。守山鯨城会として特にボランティア活動に力を入れています。

月1回の小幡地区周辺清掃活動『町美』・守山土木事務所と合同で小幡駅前ロータリー花の植え付けや清掃・草取り。玉野川学園、生徒との交流会(男子、女子)年4回、春、秋の玉野川学園主催の園遊会出席、毎月2回定例会開催し玉野川学園の花壇や菜園の管理。

鯨城会社会奉仕委員会主催・ボランティア活動・名古屋市主催『こころの絆創膏キャンペーン』参加、中部善意銀行主催・郷土美化合同奉仕活動(テレビ塔北側)の清掃等、守山鯨城会は会員の皆様方の協力を頂きボランティア活動が成り立っています。有り難うございます。

4月～11月のボランティア活動実績

- * 守山区役所周辺清掃【毎月第2火曜日】8:50～10:00『夏季8:20』185名参加
- * 守山土木事務所、合同で駅前ロータリー花壇の花植え、管理、(7/8)34名参加
- * 守山地区ボランティア福祉協議会会議 毎月1回～2回、14名参加
- * 玉野川学園、定例会 第1木曜日・第3木曜日、295名参加
- * 玉野川学園、春秋 2回・交流会(男子、女子)計4回、27名参加
- * 駅前ロータリー花壇散水(守山、守山東、北、西、大森)『7/10～9/16』95名参加
- * 玉野川学園 菜園、草取り、花壇散水(志段味、森孝)『7/20～9/10』71名参加
- * 中部善意銀行主催郷土美化合同奉仕活動(テレビ塔北側)(5/24)26名参加
- * 守山区福祉まつり・各地域会2名(10/8)16名参加
- * アクロス小幡ディサービス3日間(7/8、9、10)21名参加
- * 名古屋市老人ホーム『寿楽荘』夏祭り(7/11)6名参加
- * 鶴舞公園清掃キャンペーン(10/3)、53名参加
- * 堀川清掃大作戦(11/7)21名参加
- * 名古屋市・こころの絆創膏キャンペーン(9/10)11名参加
- * 守山区災害ボランティア活動訓練(11/23)6名参加

7地域会会員様方のご協力を頂き4月～11月まで参加会員数総勢 871名でした。

玉野川学園定例会、小幡町美、菜園や花壇等。8月～9月は雨が多い日に関わらず多数の会員様の参加を頂き有り難うございました。

28年度は 玉野川学園との関わり10年で節目の年となります。平成18年度、守山鯨城会は活動重点箇所として選んだ玉野川学園。有志の女性会員数名が樹木に名札を付ける活動から始めました。その後、玉野川学園構内の花壇や菜園の管理及び学園の生徒との交流が始まり、歴代守山鯨城会に引き継がれていると聞いています。

最近が高齢化が進み、又、1年～2年、鯨城学園を卒業されても入会会員減少、新規会員の玉野川学園活動や町美活動参加も減少。ボランティア委員会からの新規入会会員へ説明不足もあり、参加会員数の減少に歯止めが出来なかつたことも反省し、新たに笑顔・体力増進・健康・仲間との語り合い・情報交換の場所とし玉野川学園ボランティア活動を進めたいと思っています。いつまでも若々しく美味しい自然な空気を吸い、体を動かし花や野菜の生育を楽しみ、自分、家族、仲間と野菜を食べましょう。



小幡町美活動



駅前ロータリー花壇の花植え



玉野川学園内の花壇管理



玉野川学園の菜園作業



守山災害ボランティア訓練



名古屋市・こころの絆創膏参加者

平成 27 年度を振り返って

行事委員長 伊藤 清和 (27 期 地域 守山)

行事委員会として、27 年度の「奈良日帰りバス旅行—奈良遺跡と大和の匠を訪ねる—」と「第 13 回趣味の作品展」をなんとか終えることができました。

バス旅行で訪れた所は、奈良文化財研究所の約 50 年にわたる平城宮の調査を基に、いにしへの奈良の都を感じさせた「平城宮資料館」、鑑真和上が創建した「国宝 唐招提寺」、奈良の匠の技を受け継いだ大和匠 6 人のこだわりの技を見ることができた「がんこ一徹長屋」の 3 箇所。参加者は 35 名でした。

13 回目を迎えた趣味の作品展は、10 月 14 日(水)～18 日(日)の 5 日間で、来場者数は 516 名もの多くの方々に足を運んでいただきました。出展作品数は 64 点で、自由な感性を表現した個性豊かな作品展となりました。グリーンシティケーブルテレビの取材もあって、4 日間にわたり放映されました。開期中には、高年大学の百合草副学長をはじめ、河合鯉城会会長や各区の鯉城会会長にもご来場いただき、感謝しています。

28 年度も、バス旅行への参加ならびに「第 14 回趣味の作品展」への出展を、よろしくお願い申し上げます。

奈良日帰りバス旅行(奈良遺跡と大和の匠を訪ねる)



守山鯨城会 第13回 趣味の作品展

場所 名古屋市市民ギャラリー矢田 3F 第4展示室



作品は、「守山鯨城会のホームページ」に掲載されていますので、ご覧ください。

平成27年度を振り返って

幹事（鯨城会）加藤 守男（27期 国際 守山北）

守山鯨城会幹事として2年目の今年は鯨城会副会長を引き受け、早いもので入会后2年が過ぎようとしています。副会長就任にあたっては、鯨城会の新たなる発展を願い、地域と共に各区会の活性、生きがいがづくり、生涯学習の場として魅力ある鯨城会にして行きたいと考えていました。幸い河合鯨城会会長初め各区代議員、幹事の皆様方のご指導を仰ぎ愛知県、名古屋市等の関係機関に対してのパイプ作りや鯨城会活動をメディアを通じPR活動を図って来た事は、将来の鯨城会、区会の発展に少しは寄与出来たかと思えます。

27年度は、学園創立30周年記念にあたり鯨城会としても多くの諸先輩が築いて来られた功績を祝い「30周年記念同窓会」を平成28年3月29日に行います。次なる10年を目指して更なる発展を願っています。

小生が所属している守山北地域会で2年目の今年は多くの方達と共に楽しく地域活動が出来た事が自分にとって一番の生きがいがづくりになったと思えます。

高年大学 鯨城会

30周年 記念同窓会

日時：平成28年3月29日（火）4時30分～6時30分

会場：キャスルプラザ名古屋 4階 鳳凰の間

名古屋市中村区名駅4-3-25 TEL052-582-2121

《この一年を振り返って》

守山地域代表

水野 美恵子 (28期 美術)

慌ただしく過ぎた一年でした。

年明けから卒業までの三カ月間、特に二月の卒業展に向けて出品作品製作、仕上げに追われ、更に次々と組み込まれる行事の消化におおわらわでした。それらの合間を縫って「対馬・壹岐」への旅に出掛けました。天候に恵まれ景色の素晴らしさ、地元産の美味しい食事、特に朝食で出された鱻の干物は絶品でした。

この旅行で韓国が極近い隣国であることを実感。対馬のホテルでスタッフからハングル語で話し掛けられビックリ!!回りは全員韓国の旅行者ばかりでした。海外旅行気分をほんの少し味わえたかな?リフレッシュも出来楽しい旅でした。

四月からいよいよ鯉城会の一メンバー、地域代表としてスタート。毎月の役員会地域会、各種行事やボランティア活動等々に先輩、地域委員他多数の方々の支えと積極的な参加協力に本当に感謝しています。ありがとうございました。

守山東地域代表

加藤 章夫 (28期 陶芸)

前地域代表と元地域代表から、デニーズで地域代表をやらせてもらえませんかと言われて、あれから約1年、毎月の地域会の資料作成、各種ボランティア活動、見学会等への参加者の要請と集計、そして極力参加してみる。

現役の頃の陶芸学科・楽陶館の研究コースに申し込み、28期のランチ会、各種見学会等、現役の頃よりはるかに忙しくなりました。

振り返ってみると、地域会への出席者の固定化(参加の方には、大変感謝しています。)理由をお聞きすると、他の同好会、会合と重複して出席できないとの事でした。曜日の設定、時間の問題等いろいろとあります。健康と生きがいづくりの為、今一歩踏み出してみたいとおもいます。

MRJの悲願の初飛行、我が家の上空を自衛隊機と併走して飛ぶ雄姿に思わず拍手したあの感動!。健康で生きがいのある人生を仲間と共に。

守山西地域代表

竹内 文雄 (27期 生活B)

守山鯉城会に入会して、間もなく二年が立ちます。一年目は何も分からないまま、地域副代表。そして二年目、代表を仰せつかり何とか一年が過ぎようとしています。

月一回の地域会で、「役員会の報告」「各行事の参加募集」などをこなすのが精一杯の一年でした。

又、八月には、担当行事で「アサヒビール工場見学」これも皆様の協力で盛況に終える事ができました。

今後は、一会員として少しでも地域会に貢献したいと思います。

特に守山西地域会会員の皆様には、この一年支えて下さりまして、大変感謝しています。ここにお礼申し上げます。

守山北地域代表

長谷川 満 (28期 国際)

今年の梅の花咲く頃でした。守山鯉城会の役員の方から入会のお誘いを頂き、何も解らぬままに、守山北地域代表の責を負うことになり、4月以降、役員会、地域委員会等々、参加をして来ましたが、私事の為、会議の参加もままならず、皆さんに、ご迷惑をおかけしていますが、地域の役員の方々のご協力のお蔭で、今日に至っております。

会では、いろいろな企画・ボランティア活動等に、可能な限り参加させて頂き、楽しんでいきます。

まだ1年たらずではありますが、貴重な経験と、多くの方々とお知り合いになり、交流出来たことは、この会に入会したお蔭です。家に居ては、こうした経験は出来ません。感謝、感謝の一言です。

これからは、受けたバトンを次年度の方に無事お渡しすべく、残りの任期を務め終えたいと思う次第です。

役員、会員の皆さん、ありがとうございました。

大森地域代表

植村 初代 (27期 福祉)

地域代表の重責を仰せつかり多くの方に支えながら任期を向かえます。振り返ってみると力不足を痛感します。一番大切な事、それは会員の皆様の気持ちを幹部の方に理解して頂く事の難しさでした。

大森地域の会員は、37名ですが地域会参加は10名前後です。体調不良者も増しボランティア参加は限られた人の好意によるのが現状です。一方、同好会を楽しんでおられる方も多くおられます。

同好会は自主性、自発性が最大限尊重され、同じ目的のため、楽しみがあり、笑顔が出て健康増進に繋がり、医療費の節減になる立派な社会貢献だと思います。

気の進まないボランティアは、ストレスになり長続きしません。楽しく参加できるボランティア活動はどう運営されるべきか考えさせられた一年でした。

地域代表としての役割が果たせなかった事を大森会員の方々にお詫び致します。

森孝地域代表

藤田 恵子 (27期 文化A)

守山鯉城会に入って2年あまりがあつという間に過ぎました。

今年は森孝地域会の代表になって森孝に引っ越して来て間もない私にとっては、沢山の皆さんと知り合になれた事、とてもうれしかったです。(森孝地域会の日帰りのバス旅行で曽爾高原へ、すすきを観に行つた事などが思い出されます。)

代表としてはどうだったかと心配していますが、副代表さんや地域の皆さんのご協力を頂いてなんとか今日までやって来ました。

まだ少しありますが、役員をさせて頂いて良い経験をしたと思っています。

今後は鯉城会の行事に参加して、多くの方々と交流をしたいと思っています。

志段味地域代表

石橋 召二 (27期 文化B)

鯨城会に入会して2年目、地域代表の依頼を受け苦しんでいると、私が副代表としてフォローします、受けて下さいと説得され止む無く代表に。

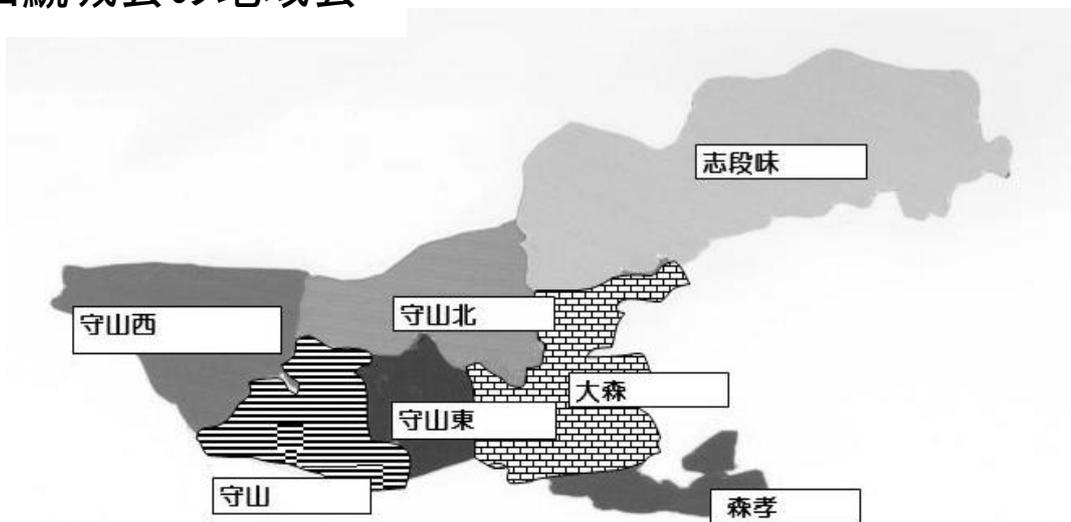
優しい会員の皆様のおかげで、何とか残り数か月の任期となりましたが振り返りますと、多忙な鯨城会活動の中で自身の心の葛藤に苦しみました。先輩の皆様にごいごい引張られて無事？今日までたどり着きました。志段味地域の先輩方々は奉仕活動等に率先して参加され、私は何でと不思議に感じ、自分の勉強不足を痛感いたしました。

また、我々27期生は入会以来8名の脱会があり、守山鯨城会の今後の活動について、再検討すべき時期かもと、感じました。

地域会が担当した見学会・親睦会

実施年月日	見学場所等	地域会
27年6月17日	リニア・鉄道館	森孝地域会
27年8月5日	アサヒビール名古屋工場	守山西地域会
27年9月30日	三菱電機(株)名古屋製作所	志段味地域会
27年11月17日	鍋屋上野浄水場	守山北地域会
28年1月13日	守山鯨城会新年親睦会(木曾路・瓦町店)	守山西地域会
28年3月14日	三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所	守山東地域会

守山鯨城会の地域会



平成27年度収穫の秋を迎え

ボランティア委員会

第5回 芋煮会を開催しました。今年10月は雨が3日と少なく（10月31日、土曜日）の開催です。

守山鯉城会（会員60名）・玉野川学園（園長・先生6名、男子生徒11名・女子生徒5名）総勢82名。前日は準備作業で24名の会員の皆様方のお手伝いを頂き有り難うございます。

秋空の下、当学園の菜園で収穫されました丸々と大きく育った里芋、サツマイモ等で芋煮会開催。守山鯉城会会長、学園長の挨拶後、会場設営係・かまど&バーベキュー・盛り付け&配膳・おにぎり係等、各班長のもとで会員、生徒、先生の皆様等の協力のもと予定時間より30分も早く芋煮会パーティーを開催することが出来ました。

又会員の皆様方は良きお爺様、良きお婆様として、お孫さん相手に作業手順などお笑いを交えて生徒さんに社会のルールなど、含めて教えていました。

食事は各地域会ごと7地区会に生徒先生2名〜3名とご一緒に、美味しく楽しいお食事を頂き、バーベキューでは生徒の大好きなウインナー、サツマイモ、串物、生徒さんや会員の皆様方の笑声が絶えることなく時間を忘れてのひと時、昔の若い頃を思い出し、生徒さん、先生方たちと尽きない時間、皆さんの笑顔、笑顔・・・絶える事が無く時間が来てしまいました。

後片付けは参加者全員行ない最後に、玉野川学園生徒さんから守山鯉城会の皆様へ感謝の言葉を頂き、又来年も芋煮会をお願いしますとの言葉、会員の皆様方の全員手拍子で幕をとじました。

守山鯉城会 会員の皆様方と日々のボランティア活動を続けて、健康・気力を願い協力をして、町美活動や玉野川学園の花壇・菜園と体を動かし楽しみましょう。



《29期生、30期生 地域ミーティング》

【29期生 地域ミーティング】

平成27年6月22日（月）・23日（火）10時～11時45分に開催されました。

開催場所：守山区社会福祉協議会研修室、ディサービスセンター湯～楽（実践体験）

出席者数：29期49名中、33名（出席率：67%）

- 1 開会挨拶：中村会長
- 2 鯉城学園 百合草副学長挨拶（6/22）、朝倉学務主任（6/23）
- 3 守山区社会福祉協議会 吉岡次長（6/22）、飯田主事（6/22・6/23）
- 4 守山鯉城会の説明：中村会長
- 5 ディサービスセンター湯～楽での実践体験
のびのび体操、ヨガ体操、折り紙（朝顔の作成）、利用者との懇談を体験しました。
- 6 閉会挨拶：中村会長



6月22日



6月23日



ディサービスセンター 湯～楽

【30期生 地域ミーティング】

★第1回 地域ミーティング★

平成27年5月13日（水）13時30分～15時 開催されました。

開催場所：名古屋市高年大学鯉城学園 8階第2講義室

出席者数：30期47名中、44名が出席（94%の出席率）

- 1 開会挨拶：三浦副会長
- 2 自己紹介：朝倉学務主任（鯉城学園）
飯田主事（守山社会福祉協議会）
守山鯉城会の本部役員
- 3 学生自己紹介：名前、学科、所属クラブ
- 4 守山区社会福祉協議会の概要：飯田主事
- 5 鯉城学園挨拶：朝倉学務主任
- 6 守山鯉城会の概要：中村会長
- 7 質疑応答
- 8 アンケートの記入、回収
- 9 閉会挨拶：三浦副会長



概要説明（中村会長）

【30期生 地域ミーティング】

★第2回 地域ミーティング★

平成27年11月25日(水)13時30分～15時 伏見ライフプラザ6階中消防署視聴覚室で開催され、30期生44名中31名が出席しました。(出席率70%)

守山鯨城会から中村会長始め役員・各地域代表、鯨城学園：朝倉学務主任、名古屋市守山区社会福祉協議会：下村事務局長が参加されました。

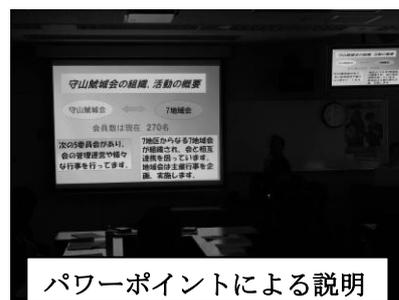
- 1 開会挨拶：三浦副会長
- 2 守山鯨城会役員・各地域代表の自己紹介
- 3 守山鯨城会の概要説明：中村会長
今回は、「パワーポイント」により説明
 - ① 守山鯨城会 7つの地域
 - ② 守山鯨城会の組織、活動の概要
 - ③ 守山鯨城会の各委員会活動
 - ④ 守山鯨城会の行事（奈良日帰りバス旅行、第13回趣味の作品展）
 - ⑤ 地域主催の見学会（リニア鉄道館、アサヒビール、三菱電機、鍋屋上野浄水場）
 - ⑥ 鯨城会主催のボランティア活動・行事への参加（郷土美化、鶴舞公園クリーン、堀川清掃、グラウンドゴルフ交歓会）
 - ⑦ 第5回 守山鯨城会「いも煮会」
 - ⑧ 守山鯨城会 同好会のご案内（9の同好会）
- 4 守山区社会福祉協議会の活動：下村事務局長
- 5 鯨城学園の挨拶：朝倉学務主任
- 6 7地域毎のグループ討議
各地域の代表が司会役となり、学園生活・卒業後の生活・守山鯨城会への質問や要望等について討議した。
- 7 閉会挨拶：三浦副会長



出席の皆さん



出席の皆さん



パワーポイントによる説明



地域毎のグループ討議



地域毎のグループ討議



地域毎のグループ討議

「いも煮会」～五周年を迎えて～

浅井 保司 (23期 環境 守山東)

早いもので「いも煮会」も今年は「第5回いも煮会」を迎えました。平成27年10月31日(土)秋晴れの「いも煮会日和」のなか、守山鯉城会会員、玉野川学園の教職員の方々そして生徒さん達と共に、「里芋が甘く柔らかいね」、「お肉が美味しい」、「この人参もこの畑で獲れたもの」、バーベキューでは、「さつま芋も柔らかいね」、「さつま芋はこの畑で獲れました」、「ウインナーは何時食べてもおいしいね」、等と明るい会話に笑顔一杯で大いに楽しみ、皆さんがこの「いも煮会」を待ち望んでいた様子が食事風景でもよくわかりました。

役員さんは前日には芋堀と芋洗い、参加者の皆さんへの「里芋のお土産づくり」また、買い出し班は食品、お茶、食器類の準備と大変な作業していただいています。当日は参加者の受付、会費徴収、調理班、火起こし班、炊き出し班、会場設営班、駐車担当と大忙しで役員の皆さんのご協力に頭が下がります。

今年は玉野川学園さんのご配慮で当日は、教職員の方、生徒さん2~3名の方が各担当班に参加していただき楽しく交流もできました。

私は平成22年年に守山鯉城会・守山東地区に入会させて頂きました。前任の滝本代表から地域代表を引き継ぎ地域の運営もさることながら、東地域の会員の方は勿論、守山鯉城会の方々を知ることが重要と思い「ボランティア」活動に積極的に参加し会員のお名前とお顔を覚えました。

玉野川学園の花壇、畑の作業には先輩に色々教えて頂き慣れない手つきで覚え、玉野川学園での「花を咲かせる」、「野菜の収穫」に今まで体験したことのない「喜び」を感じました。

4月からの「畝お越し」、「種をまく・苗を植える」、「草取り」、「施肥」を通じ夏の花、野菜、そして秋の「里芋の収穫」に、鎌で茎を切り大きな葉を「目の当たり」にした時には、その大きさにびっくりしました。そしていよいよ「里芋」を堀上げた時には、一本の茎に多くの芋が密集し成っていたことに感激・感動したことを覚えています。

収穫した野菜は、玉野川学園さんに楽しんで頂き教職員様、また生徒さんの給食にも使って頂いています。

「里芋の収穫時」に守山鯉城会の会員間の親睦、玉野川学園さんの教職員さん・生徒さんとの交流をより深めるためにも「守山鯉城会」・「玉野川学園さん」と一緒に「いも煮会」をすることで、楽しくそして面白い企画と思いました。

翌、平成23年5月の幹事会の後の雑談時に後藤会長、河村副会長に「いも煮会」を提案しました。お二人とも「面白いね」と賛成していただきました。次回の「玉野川学園」定例会で「いも煮会」を提案し楽しくやりましょうと賛成して頂きましたので、近藤園長さんに「守山鯉城会では玉野川学園の生徒さん、教職員の皆さんとより交流を深めるために学園内をお借りし、いも煮会をしましょう。鍋・釜などいも煮会に必要な設備を使わせて下さい」と伺いました。園長さんも「それはいいことですね。是非やりましょう」と快く賛成していただきました。「禁酒」、「禁煙」そして駐車場

の関係で出来るだけ「相乗り」で学園へ来ることを話し合いました。

このように「いも煮会」実施には皆さんの賛成を得ました。6月の守山鯉城会定例会で役員・地域代表の方に賛同して頂きました。初めてのことで、守山鯉城会は「応援する」とし、実施は私が責任者で実行委員として実施することになりました。後藤会長、河村副会長と次のような項目を決めました。

期日：11月23日・・・畑での作業の集大成、収穫祭を勤労感謝の日に実施

(参加者の方に勤労感謝の日は守山鯉城会の「いも煮会」と覚えやすい)

会費：500円・・・お金を掛けず皆さんで充分楽しめる

作業日程： 前日・・・芋堀・芋洗い・お土産作り・料理用設備の確認

買い出し(食材・お茶(ペットボトル)・食器等)

当日・・・駐車場、調理、火おこし、炊き出し、バーベキュー

会場設営・・・等の各担当の作業

10月下旬： 玉野川学園さんの会議室をお借りし、いも煮会参加者の方に参加して頂き前日の芋堀関係は石原さん(志段味地区)、買い出し関係は近藤さん(守山北地区)に説明して頂きました。

参加者の方には各担当をお願いし、皆さん大いに盛り上がり「いも煮会」の関心も高まりました。

11月の初旬頃、玉野川学園定例会で石原さんから「高蔵寺農協で来場者の方の芋煮のサービスがあるからどのように行か見に行こう」と呼びかけがあり、行ってみると、大きなお釜2個を使用し作っていました。豚肉、里芋、人参、ごぼう、こんにゃくが入っており美味しくいただきました。私達も「いも煮会」はこのように作ろうと皆さんで話し合いました。

11月23日当日はお天気も良く秋晴れの下、調理担当の女性の方々は楽しそうに話し合いながら肉、野菜等を切り込みし、男性の方々は火お越しに煙の中苦戦していました。いよいよ煮炊きが始まりましたが肉は何時から、野菜はどの種類から入れるか、各家庭で異なり色々な説があり、ようやく煮込むと今度は大切な「味付け」の段階でこれが「濃い」、「薄い」で大いに盛り上がり、皆さん笑いながら楽しく調理していました。バーベキュー担当者は野菜が焦げ付き、ソーセージは焼き上がると「味見」と云い他の方が美味しそうに試食していました。会場設営はリヤカーで椅子などを事務所の南側の今は使用されていない部屋から何回も運びました。机は会議室で使用されているのを東窓口から出す人、外で受け取る人とこれも大変な作業でした。駐車場担当者は入口で車がスムーズに入れるよう順番を管理し中央では2か所ある駐車場をどちらに入れるか指示をだし、最後の駐車場では車を何処に駐車して頂くか等、駐車担当者は3箇所での各担当者の方が安全な駐車に瞬時な判断を要し大変な作業でした。いよいよ出来上がり「一番楽しい時間が」がきました。学園の教職員さん、生徒さんに「美味しい」と云って頂き好評でした。2~3杯お代わりする生徒さんもみえ皆さんに喜んでいただきました。鯉城会の皆さんも自身が関わり出来上がった「いも煮会」を楽しみ、何処の席でも笑いと楽しい会話が絶えませんでした。終了時の後片付けはこれまた、非常に大事ことで「使用前より綺麗に」を意識し丁寧に各担当班で行いました。会員の方には、ご家庭で学園の里芋を家族で味わって頂くために「里

芋」のお土産を持ち帰って頂きました。学園関係者の方々、守山鯉城会の方々にこの様に楽しんで頂きました。

翌年平成 24 年に私が会長の時に「いも煮会」は守山鯉城会主催で行い現在に続いています。その年の 12 月には、近藤園長さんのご丁寧な「いも煮会のご招待のお礼について」とのお手紙と生徒さん 15 名のお手紙（原稿用紙）を頂きました。園長さんは「子供たちは以前からこの行事を楽しみにしており、当日は子供たちは予想以上に美味しくまた、楽しいご招待であった」と記されていました。生徒さん達の手紙には、「芋だけでなく肉、人参、きのこ、ほかにウインナー、おにぎりをつくって頂きありがとうございます。『いも煮会』大変おいしく頂きました」、「私は来年玉野川学園を卒業しますが、後輩のために是非来年も『いも煮会』をやって下さい」などを頂きました。

花壇作りの苗は全て近藤さんが自宅でポットで種子から苗を栽培し花壇に植え込みをしており、近藤さんが毎年尽力されています。畑は石原さんが自ら鍬を持ち一生懸命の作業には頭がさがります。玉野川学園のボランティア活動はこのお二人の先輩の活動を中心に楽しい会話で行われています。

最近、一部の方が玉野川学園の「ボランティア」、「いも煮会」に批判的な発言をされると云う残念な情報を耳にします。そのような発言をされる方は一度玉野川学園のボランティア活動に参加して下さい。また、ぜひ「いも煮会」に参加して下さい。体験されると気持ちが変わり「素晴らしいボランティア活動」と感じていただけます。

また、名古屋市からの助成金も「町美」活動と共に玉野川学園との生徒さんとの協同菜園作業、花壇整備、農作業のボランティア活動が認められて支給を受けています。

今回の「いも煮会」の閉会式で女子生徒さんの「今日のいも煮会も楽しく、また美味しくいただきました。来年も是非いも煮会を行って下さい」と挨拶されました。私達、守山鯉城会の会員はこの言葉によるボランティア活動に対する生徒さんの期待感を重く受け止め、これからも会員全員で玉野川学園のボランティア活動をしていきましょう。



玉野川学園内の菜園

随 想

BS テレビ「小さな村の物語イタリア」を見て思う事

奥村 隆司 (24期 文化A 守山)

私は偶然にBS日テレを付けたところ「小さな村の物語イタリア」を放映しており内容は農漁村の小さな村の普通の家庭の暮らしを、淡々と伝えているのですが、何故か懐かしさが胸にしみわたるものがあり、毎週欠かさず見るようになりました。

その内容は 美しく生きるということ……

答えはきっとありません。

でも、村人たちの笑顔が

本当の大切なものを教えてくれます……

とのナレーションが始まります。

私知っている、観光客で溢れる有名なイタリアの観光地と違い、海を臨む小さな漁村、山肌に張り付くように佇む村、雪に覆われた山間の寒村、細々と営む牧場……気候や風土に逆らわず、彼らは共存しながら暮らしています。

祖父母、父母と先人達が築き守ってきた伝統を誇りに思いながら生きています。

人間本来の暮らしが息づく「小さな村」に私は、毎回注目しています。

古き良き歴史と豊饒な大地を持つイタリアで心豊かに生きる人達に何故か引き込まれます。「美しく暮らす 美しく生きる」とはどうゆう事なのか。私達が忘れてしまった素敵な物語が、小さな村で息づいています。

イタリア人は明るく陽気で女性で有れば誰でも簡単に声を掛け、伝統などあまり重視しない人々が多いとの感想をもっていました。しかし、勤勉で真面目な民族と思われている私達よりはるかに、先人が築いてきた伝統を忠実に守り、家族を大事にする姿に思わず涙ぐんでしまいました。

私達の周辺では、各地で伝統ある行事が、過疎で人手不足を理由に次々と開催できなくなっています。しかし、「イタリアの小さな村」では、都会にでた若者が帰郷し伝統ある行事を引き継いでいます。それと比較して日本の若者はどうでしょうか……

鯨城会の現状を考えても、高齢になり学ぶ機会を与えられ、若者のように新しいクラスメイトが出来、いろいろな行事を楽しみ、卒業後はボランティア活動、同好の仲間が集まり楽しむ同好会活動と先輩が築いた道を守り広げてきました。

しかし、昨今の鯨城会の現状は、卒業しても地域の鯨城会にも加入せずボランティア活動も全く参加しない無関心な卒業生が増え、衰退の一途をたどっています。

生きがいのある老後の生活を与えられたと言うのにこのままで良いのでしょうか。「イタリアの小さな村」を見ながら何故か寂しさを覚えます。

「小さな村の物語イタリア」のテレビ画像



文化祭出演にあたって

角田 悟 (27期 福祉 守山西)

民踊同好会「ふなっこ」を平成26年4月鯉城学園卒業と同時に立ち上げました。踊ることが大好きな仲間が集まっています。

舞台発表の場を設ける事は、会員にとって非常に刺激となり練習意欲も湧いてきます。念願が叶い平成28年2月20日(土)に出演できることになりました。

守山鯉城会会員で「ふなっこ」に所属しているのは志段味地域の藤川さん、森孝地域の藤田さん、そして守山西地域の角田の3人が出演します。感謝の気持ちを込めて踊りたいと思います。

また、手話ダンスの「四季の会」には、守山東地域の鈴木さんと、志段味地域の岡田さん、コーラスの「白川ハーモニック・クラブ」には守山西地域の竹内さん、民謡の「鯉城民謡クラブ同好会」には、守山西地域の大治さんと鈴木さんが出演します。他にも守山鯉城会会員の方も出演されると思います。

鯉城ホールに来ていただき、応援をお願いいたします。

短歌

二八期 文化B 守山東 立川 哲夫

流れ星二つ三つ四つ奪り行くあの空なるか母の住処は
あかねさす照る日曇る日嵐の日七十四歳今日に乾杯
あずさう鳴く春告鶏うぐいすの声响く冬を押しやる力満ち足り

俳句

一八期 国際 大森 後藤 志士

秋
しまい湯おひに老を思わす秋の虫
松茸が近くに居るか金木犀きんもくせい(飯田にて)
墓参りすすきの岸にねこ眠る(龍泉寺)

冬
竹林も騒がし冬の大森寺だいしんじ(守山大森)
ち切り絵の鳥もふつくら冬化粧
ベランダで冬が来たよと告げる妻

二五期 陶芸 守山西 杉本 三夫

草紅葉肩寄せ合ひて道祖神
本陣も旅籠もありぬ吾亦紅
鐘の音や遠ざかり行く去年の夢

編集後記

会員の皆様、先輩諸氏のご協力をいただき「守山鯉城会便り第52号」を発行することができました。厚く御礼申し上げます。

今年は広報委員会としても悲しい出来事があり残念でありませんが、何とか従来通り「守山鯉城会便り第51号・第52号」と共に「かわら版第15号～第18号」を発行することができました。今後とも皆様のご協力、ご支援宜しくお願い致します。

本部広報委員

三浦 勉 (27 環境 守山北) 峰村 道弘 (26 福祉 守山東)

地域広報委員

守山地域	奥村 隆司 (24 文化A)	守山東地域	森下 修 (24 生活A)
守山西地域	杉本 三夫 (25 陶芸)	守山北地域	石原 朋行 (26 生活B)
大森地域	江端 寛 (25 園芸)	森孝地域	糸藤 眞喜子 (26 生活B)
志段味地域	奥崎 三彌 (25 陶芸)		